



●市内の出来事や、頑張っている皆さんの姿を紹介するコーナーです。



●5月12日
希望あふれる明日を願って
市役所駐車場から

頭上は雲が立ち込めていますが、見つめる先には夕焼けが見えます。新型コロナウイルスとの戦いも同じです。光に向かって一丸となって乗り切りましょう。



●5月12日
燕の産業界より寄付をいただきました
燕市役所

市内3団体と企業52社から2,750万円の寄付をいただきました。寄付金は、市独自の緊急対策「フェニックス11」のうち飲食業界向けの支援策に活用します。



●5月18日
集団登校時にも密を避けましょう
分水小学校

待ちに待った学校再開！学校に子どもたちの歓声が帰ってきました。友達や先生との久々の再会で、大きな挨拶があちこちで響き渡りました。



●5月12日
格別夜の白藤も
安了寺

ライトアップされた白藤は別の顔を見せます。提灯の明かりに照らされた白藤は、ほのかな橙色に様変わり。甘い香りは昼と変わらず境内に漂っていました。



●4月30日
第2弾は背脂ラーメンで応援！
つばめ産学協創センター

帰省を自粛する学生を応援する企画の第2弾。ソウルフードが学生たちの心を温めました。また、5月14日には第3弾としてお菓子の詰め合わせも届けました。



●5月1日
国上山に春来る
朝日山展望台

国上山の新緑、千眼堂吊り橋の赤い橋梁、そしてピンクの山桜のコラボレーション。来年は晴れやかな心でみんなで堪能したいですね。



●5月1日
離れていてもつながる
燕市役所 ↓ 東京

「東京つばめいと」がオンラインでランチミーティングを開催。外出自粛が続く中でも、メンバー同士の交流を図り、今後はイベントなども企画していきます。



●5月12日
密を避ける蜜に魅かれる
安了寺

八王寺にある安了寺の白藤は、今年も見事な花を咲かせました。5月、人々は「密」にならないよう自粛。今年は「蜜」を求めた蜂たちが白藤を独占していました。

知っていれば得た気分になれる。そんな話題を集めたコーナーです。

Cooking

野菜いただきます！



燕市食生活改善推進委員
保健センター ☎ 0256-93-5461

ほうれん草とツナのさっぱり和え

ほうれん草	…2わ
ツナ缶	…1缶
海苔	…1枚
酢・醤油	…各大さじ1

- ほうれん草はゆでて2cm幅に切る
- 海苔はちぎる
- すべての材料を和える

いただきます！



6月は食育月間です。期間中、各地区図書館では食育の本コーナーを設置していますのでご覧ください。

毎月19日は食育の日。つばめ食育だよりを配信しています。最新号はこちら！▶▶▶▶



ごみの量(令和2年4月)

可燃・粗大ごみの量が前年に比べ増加しています。引き続きゴミの削減・分別にご協力をお願いします。

ごみの種類	令和2年4月		平成31年4月		比較増減
	収集量	1人1日	収集量	1人1日	
可燃	1,247 t	526 g	1,227 t	515 g	11 g ↑
不燃	76 t	32 g	82 t	34 g	- 2 g ↓
粗大	53 t	22 g	44 t	19 g	3 g ↑
資源	214 t	90 g	254 t	107 g	- 17 g ↓
合計	1,590 t	670 g	1,607 t	675 g	- 5 g ↓

生活環境課 環境政策係 ☎ 0256-77-8167

Culture

●今月の一品
定珍ぬしにこたへ侍る 夜よしてふ月の夜頃は 覆ねがてに 片敷く袖や露に朽ちなん 有則
分水良寛史料館 ☎ 0256-97-2428 (月曜日休館)
■入館料 大人300円 高校生・学生 200円 小・中学生 100円
※団体割引あり



定珍は庄屋・阿部定珍のこと。有則は原田鶴齋の歌人としての雅号。歌意は、「すばらしい夜の月の美しいあいだはなかなか寝つけず一人寝の着物も袖も涙と露でさつと無くなってしまふのだからか」

「古今調」の歌である。鶴齋は文化14年(1817)に妻を亡くしている。歌仲間である定珍の慰めに一人寝のさびしさをやや誇張して歌ったのだろうか。鶴齋は大森子陽塾で良寛と同門であり、江戸で若いころ医学を学ぶ傍ら文化人、風流人としての教養を身につけ、国上山の「五合庵サロン」で良寛・定珍らと親しく交わった。

鶴齋は梅の花を好み、あるとき他家の梅の花を盗もうとした「花盗人」逸話は有名で

ある。良寛・定珍も梅の花が好きで、3人でお互いに梅の和歌の唱和をして楽しんでいる。文化4年(1807)の長い詞書を持つ鶴齋の梅の歌が二十五首あるが、その中の一首を次に紹介しよう。

いやひこの梅の林をすぎくればうましをとめに逢ひにけるかも
文政10年(1827) 2月16日没。65歳であった。

遺稿には、詩集1冊、詩歌俳諧を集めたもの1冊、歌稿数冊などがある。

地域おこし協力隊の奮闘日記 vol.27

どうも、協力隊のかっしーこと、鹿嶋です！この記事を書いているのは4月末ですが、6月に入っても新型コロナウイルスの影響での自粛の状況は変わっていないと思います。

感染拡大の恐れがあるがゆえに、急激にオンラインへの対応が求められています。周りの人にオンラインツールの簡単な使い方を教え始めました。外出自粛で、孤独を感じるが増えているかもしれませんが、オンラインツールに慣れば、またみんなとつながることが出来ます。今や会議はもちろん、飲み会までオンラインに移行していることをご存じですか？いつの間にか、地方や都会という線引きすらなくなる時代がやって来るかもしれません。

これから、飲食店のテイクアウトを参加条件とするオンライン飲み会を計画し、街の経済活性化につながる仕組みづくりを目指しています。新型コロナウイルス感染症とどう付き合っていくかを考え、この状況を共に乗り切りましょう！

▼オンラインで話をしている様子。真ん中が鹿嶋さん。

燕市地域おこし協力隊 鹿嶋 功貴